

第2回 有田町立学校施設整備基本構想・基本計画策定委員会

日時 令和7年11月27日(木) 18:00～
場所 有田町生涯学習センター 視聴覚室
(出席者 委員13名)

1. 開会(委員長あいさつ)

委員長:大変寒くなってきたところ、お忙しい中お集まりいただき感謝する。

第1回委員会では「歴史と文化の森公園」を新中学校の候補地として計画を進めていくことを確認した。本日も、慎重に審議しながらも確実に前進していければと思っている。ご協力をよろしくお願いする。

2. 協議事項

①検討の進め方(策定スケジュール)

(事務局より資料0説明)

事務局:当初スケジュールではワークショップや意見収集をまとめて行う予定だったが、より具体的な配置プランに焦点を当てるため、第1回(広範な意見)と第2回(配置プラン中心)に分割して実施する方針に変更した。

委員長:スケジュールの変更について意見はないか。

(特に意見無し)

②意見収集の結果報告

(事務局より資料1説明)

委員長:アンケート結果について、意見はないか。

委員A:資料の7ページについて、2点。

1点目「歴史と文化の森公園はアレルギーが出やすく、風が強く、寒く、坂道も大変」という意見があるが、説明をお願いしたい。

2点目「西有田の治安悪化のイメージから、有田に不良が増えることへの懸念」

という意見があるが、どういう意図なのか教えてほしい。

事務局：1点目については「候補地が高台であり風が強く、砂ぼこりや花粉などの影響でアレルギー体質の悪化が懸念される」という意味合いであると理解した。2点目の「治安悪化」については回答者の個人的なイメージによるものと推測され、意図までは不明である。

③施設構成・敷地利用（配置プラン）

（事務局より資料2説明）

事務局：既存の有田中学校（S53 築・4階建・7,300 m²）は施設が充実している一方、敷地形状がいびつ。西有田中学校（S34 築・2階建・3,600 m²）は平地でアクセスが良い一方、施設はコンパクトである。

新設校では学校の現状を踏まえつつ、将来の生徒数減少や維持管理コストを考慮し、施設の適正規模を検討する必要がある。また、部活動の地域展開を見据え、町内既存施設の活用も視野に入れる。

ここからは、計画策定の支援をお願いしている業者より、歴史と文化の森公園内への配置案を2パターン説明していただく。なお、本案は施設規模の検討段階のものであり、プールと窯業室は造らない前提で作成している。

支援業者：案1は北側寄せ案。既存の芝生広場全域を学校用地とし、北側に細長い敷地形状で整備する。メリットとしては「公園入り口付近で学校動線と車両動線を完全に分離でき、安全性が高い」「駐車場をまとめて配置できるため利便性が高い」「校舎が北側に寄るため公園中央の解放感が保たれる」といったところが挙げられる。デメリットは、現在の芝生広場がほぼ学校用地となってしまうこと。

案2は公園の西側（奥側）に学校を配置する案。メリットとしては「現状の芝生広場の約半分（手前側）を残すことができる」「グラウンドの形状を四角形に近いきれいな形にでき、トラック周長を確保しやすい」といったところ。デメリットとしては、校舎が奥になるためアプローチ動線が長くなり、歩車分離や生徒昇降口からグラウンドへのアクセスに工夫が必要となることである。

委員長：質問・意見などはあるか。

委員 B：この図面はあくまでボリューム感を確認するための案という理解でよいか。また、それぞれの敷地面積は。

支援業者：ボリューム検討用の案である。敷地面積（学校の範囲）は、案1・2ともに約27,000 m²となる。

委員 C：机上で論ずることも重要だが、ぜひ委員の皆さんと一緒に「現場を見て、改めて議論する」場を設けてほしい。私も実際に現地を歩いてみたが、調整池ま

で下ると 10 分足らずだが、そこから公園まで上ってくるときは 15 分以上かかった。前回雑談的に「調整池を体育・運動スペースに」という話もあったが、実際のところ授業時間を考えると移動のロスは大きいと感じた。そういった実感をもって話ができたらと思う。

また、候補地を変更するとなれば計画が振出しに戻り、5、6 年の遅れが生じる懸念がある。西有田中学校の老朽化は待ったなしの状況。12 月か 1 月ごろに、皆で候補地（公園）を訪れ、案 1・2 の配置や高低差、動線などを、肌感覚で理解したうえで議論すればより深い理解が得られるのでは。

事務局：前向きに検討する。次回のワークショップは公園で実施する予定であるため、その際に委員の皆さまにもご参加いただき、現地を確認しながら議論する場を設けたい。

委員 D：提示された案 1・2 の二者択一に限るのではなく「必要なパーツをどのように当てはめていくか」という視点で議論を進めてはどうか。

例えば「校舎としてはこの規模が必要」「体育館はこの規模で足りる」といった要素を整理し、それを公園というキャンパスの中で、風向きやアクセスなどを考慮しながら「どう配慮すれば最適か」と検討する、パズルのようなやり方も有効ではないかと思う。

委員 B：それに関連してだが「公園に残すべきもの・残していくべきもの」もあわせて検討していく必要があるのではないか。

例えば案 1 では「冒険の森」などが残る形になっているが、現状としてこのエリアがほぼ利用されていないと考えると、無理に残す必要はないかもしれない。また、記念堂などの既存施設の扱いを含め、公園全体の機能の取捨選択を視野に入れた配置計画を考えるべきではないか。

事務局：パーツを当てはめていくにも「公園自体をどの程度残すか」また「どの範囲を公園として残しどの範囲を学校用地として利用するか」といった大枠の方向性を決めていただく必要がある。本日はまず「北側に寄せるか西側に寄せるか」という、大きな方針についてご意見をいただきたい。

委員 E：現在は出入口が公園正門の 1 か所のみだが、防犯や安全の観点から「冒険の森」広場の方など、ほかの出入口を確保する必要があるのでは。

事務局：防犯面や、1 か所が封鎖された際の安全確保という観点からも、出入口を複数確保する必要がある。具体的には「冒険の森」付近や、消防署側から上ってきて突き当たった法面への階段設置などを今後検討していく予定。

教育委員会としては、芝生広場を残せることと、学校敷地の形状がある程度まとまっており防犯上の利点が大きいため、西側案にメリットを感じている。

委員 B：「遊びの広場」「七福神の森」や「テクノ館」など、現在あまり使われていない公園施設のあり方も含めて検討すべき。

事務局：学校を計画するにあたっては、遊具の移設等も含めた公園の再整備の検討も必要になる。北側案の場合は公園の再整備にかかる範囲が広くなるという点も懸念している。

委員長：それでは、本日の重要な協議点である「北側案」（案１）か「西側案」（案２）かについて、皆さまのご意見を伺いたい。少し時間をとるため、近くの方と意見交換をお願いします。

（討議・約３分間）

委員長：各グループ・委員からのご意見を。

委員 F：総合的に西側案（案２）が良いという結論となった。条件として、先ほど話が出た「冒険の森」方面への出入口確保が必要だが、そのうえで２つの理由から支持する。

- ・公園の顔となる部分を残せる。（景観上の観点）
- ・子どもたちの要望（ワークショップでの意見など）にも合致する。

委員 G：教員の視点からも西側案を支持する。

北側案では、地域の方が公園を利用する際に学校敷地の横を延々通って奥へ行く形になり「学校建設で公園が潰れてしまった」という印象を与えかねない。西側案であれば手前に公園が広く残り、学校と公園が共存しているイメージが湧きやすい。

委員 B：どちらも一長一短あるが、北側案にある「駐車場の増設」は西側案でもスペース的には可能。また、西側案の場合、校舎とグラウンドの位置を入れ替え、「校舎を手前にしてグラウンドを奥にする」といった検討もできるのでは。

委員 A：町民アンケートや住民の声を聞くと「芝生広場は使い勝手が良いので出来るだけ残してほしい」という意見が根強い。その点から、芝生広場を残せる西側案が良いと判断した。北側案では芝生広場に行くまでに学校の横を歩かなければならず、心理的にも距離的にも遠く感じてしまう。

また具体的な運用面でもいくつか利点がある。

- ・現在、消防出初式や各種訓練などで芝生広場が利用されている。西側案であれば継続利用が可能。
- ・子どもたちの遊び場が駐車場に近い手前側に残る方が、利用者にとって利便性が高い。

委員 H：町民感覚としても西側案が良いと思う。現在は西側の奥（西側案の建設予定地付近）は公園としてあまり利用されていないエリアなので、そこを学校として活用するのが合理的。ただ、新たに公園を整備するのであれば「冒険の森」も含めて有効活用すべきではないか。

委員 I：西側案が良い。西側案は死角が少ないが、北側案は敷地が長いのでテニスコート付近などは把握しづらく、懸念がある。「冒険の森」方面への入り口確保

は必須と考えるが、配置としては西側案が良いと考える。

また、西側案は公園を利用する際も、学校と公園の共存を感じやすい。

委員長：皆さまの意見を伺って、全体として西側案（案２）が望ましいという方向で一致したように見受けられる。

ただし「防犯上の課題」「車の動線と歩行者の分離」「駐車場の配置」など、解決すべき課題も多く挙げられた。これらは今後の検討事項としていただきたい。

事務局：承知した。

なお、本日いただいたご意見について、この場でお答えできるものについては回答と補足をさせていただく。

- ・駐車場について…西側案では手前側の駐車場が不足する可能性があるため、公園管理部署と協議し、拡充を検討する。
- ・周回路について…現状は車道（管理道）を歩行者が歩いている状態。歩道を整備したり段差を設けたりして、歩者分離を図る必要がある。
- ・「冒険の森」方面のアクセス…現在は保安林に指定されているため勝手な開発はできない。保安林解除の手続きを含め、通学路として活用できるよう関係機関と協議を進める。

3. その他

事務局：第３回策定委員会は２月を予定している。それに先立ち、１月中旬以降に現地（歴史と文化の森公園）での児童生徒ワークショップを予定している。委員の皆さまにもぜひご参加いただき、本日議論した配置案を現地で確認しながら、より具体的な意見交換が出来ればと考えている。日程が決まり次第連絡する。また、次回に向けて、新しい学校に必要な教室の種類や数についても委員の皆さまに考えていただきたい。特に学校の先生方にご協力いただき、調査を進めたい。

委員 A：第１回アンケートの結果は一般公開されているか。また、それに対する町民からの意見は届いているか。

事務局：結果は町のウェブサイト等で公開しているが、現時点で特にご意見は寄せられていない。

6. 閉会

(以上)